

研究専攻（専門領域）		文化環境研究専攻		学籍番号	05CS032
氏名	秦 明子	ローマ字	HATA Akiko	国籍 (留学生)	
修士学位 論文名 特定課題研究名	15世紀後半のフランドルにおけるメディチ商人のパトロネージ — トマーズ・ポルティナーリ (ca.1432-1501) を主眼として				
提出年月日	2008 年 1 月 10 日		指導教員	伊藤 博明	
体裁 (論文)	37 頁 (1 頁文字数 1591 字) + 付録史料 7 頁		言語	日本語	
別冊添付資料等					
キーワード	15 世紀後半 メディチ商人 パトロネージ フランドル絵画				
<p>本論の目的は、15世紀の南北美術交流に少なからず影響力をもったメディチ家の商人 トマーズ・ポルティナーリ (ca.1432-1501) に焦点をあて、この人物の1470年代のフランドル における一連のパトロネージ（ポルティナーリ祭壇画を含む三点の作品の注文）を体系的に 考察することによって、個々の作品相互の関連性、および、これらのパトロネージに みられるこの人物の意向／嗜好を明らかにすることを目的としている。</p> <p>以上の問題を明らかにする方法として、トマーズ・ポルティナーリがこの時期のメディ チ商人という特定の社会的結合関係に属していたがゆえに、ある特定の時代の「嗜好」に ついての個人的なものと集合的なものとの関係性、そして、ヴァールブルクによって明確 に示されている「この時代の芸術作品が注文主と画家との相互関係の領域において成立し ているものである」という問題意識を前提としたうえで、具体的には①科学的調査によっ て現在明らかとなっている実際の作品の制作過程や②画家の個性、③社会的・文化的文脈 における注文主の状況などから、この人物のパトロネージがどのようなものだったのかを 明らかにしていくことを試みた。</p> <p>構成としては、はじめに、これまでの先行研究で指摘されている15世紀後半のイタリ アにおける北方美術への嗜好について概観した。第一章では、1470年代初めのポルティナ ーリと、画家メモリンクとの関係を取り上げ、三連肖像画とキリストの受難を主題とする 小型祭壇画の注文にみられる画家の個性と、これらの作品における注文主の意向／嗜好を 具体的に跡付けた。第二章では、比較対象として、同じくブリュージュで活躍したメディ チ商人、アンジェロ・ターニがメモリンクに注文した祭壇画について、そこに示されたター ニの嗜好を確認し、同祭壇画に描き加えられたポルティナーリ像の意味を先行研究によ って示した。最後に第三章では、まず、一連のパトロネージの到達点として注文されたポ ルティナーリ祭壇画がメモリンクではなく、ヒューホ・ファン・デル・フースに注文され た事実を示すとともに、その注文の時期について、画家と注文主の両者の側から考察した。 そして、この祭壇画がどのように受容されたのか、その機能と特異性を、実際に設置され た礼拝堂の装飾空間や主題を考察することで、ポルティナーリが、北方フランドルの画家 による作品に何を最も望んだのかを推察した。おわりに、これらの考察を通して浮かび上 がったこの人物の「メディチ商人」という特定の社会的結合関係の中における「嗜好」の 個別性／特異性が明らかとなっている。</p>					